

森林環境譲与税の用途について

森林環境税および森林環境譲与税

森林には、人々の暮らしに役立つ様々な役割があります。例えば木々は二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぐとともに、酸素を作り出します。森の土は雨を染みこませて水を蓄え、洪水や土砂災害を防いでくれます。また森はたくさんの動物のすみかになり、生物多様性を維持してくれます。このような森林の有益な役割を「森林の公益的機能」と言います。

森林が公益的機能を発揮するには、その森が健全でなければなりません。ところが近年、木材価格の低下から、適時に森林整備を行うことが困難な森林所有者や、所有者不明森林が増加、さらに森林整備の担い手不足もあって、公益的機能が十分に発揮されない森林が増えています。

森林の公益的機能の恩恵は広く国民全体が受けることから、森林整備のための財源として、平成31年4月に森林環境税および森林環境譲与税が創設されました。森林環境譲与税は市町村に配分され、五條市はこれを利用した森林整備等を行っていきます。

当市の方針

当市では、森林環境譲与税を受け入れるため、令和元年9月、五條市森林環境基金条例を制定しました。今後はこの基金を財源とし、施業放置林等に対する森林整備、木材利用の促進や普及啓発、森林整備を行う人材の育成などを行っていきます。

令和元年度の森林環境譲与税使途

事業名	事業内容	事業費（千円）
施業放置林整備事業	奈良県の施業放置林整備事業で間伐を行った伐倒木に対し、防災対策の森林整備を行いました。	4,387
五條市森林保全マネージャー事業	施業放置林整備事業を行うにあたって、マネージャー2名を任命し、実施箇所の選別、森林所有者の内諾所得、現地立会等を行いました。	514
小学校「夢・志」教育プラン具現化事業	五條市教育振興基本計画に示された「夢・志」教育プランの具現化に向けた事業の一つとして、森林環境教育体験学習推進事業を行いました。	96
木育事業「もくもくスタート」	市内木工業者で手作りされた木製の椅子を12か月児にプレゼントすることで、木と触れ合い、木製品の良さを実感し、親子で森林の大切さを考える機会としました。	1,120

基金積み立て	森林整備等に必要な資金として積み立てを行いました。	13,396
		合計 19,513 千円